

【アンファー 花粉に関する全国一斉調査】**花粉症罹患率が高い都道府県は同率1位で「福井県」「群馬県」という結果に****花粉症に対して罹患不安がある人も昨年から108%増加****目のかゆみやくしゃみだけではない！****花粉による頭皮やまつ毛のトラブルについて専門家が解説**

アンファー株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役:吉田南音)は、47都道府県各100人(実施時期:2023年2月、男女比50対50、20代~60代各10名、合計4,700名)を対象に、花粉症に関する調査を実施いたしました。

花粉に関する全国一斉調査**くしゃみや目のかゆみだけじゃない!****頭皮・まつ毛の
花粉トラブルに注意!****【調査結果サマリー】**

① 花粉症罹患率が高い都道府県は「福井県」「群馬県」が22ptで同率1位に。

1位:福井県、群馬県(22pt)

2位:滋賀県(19pt)

3位:茨城県、山梨県、徳島県、埼玉県(17pt)

47位:沖縄県(4pt)

46位:兵庫県(6pt)

45位:山形県(7pt)

② 花粉症に対して罹患不安がある人も昨年より増加

花粉症を罹患している人は昨年より約110%増加しており、花粉症に対して罹患不安がある人に関しても調査した結果、昨年より約120%増加する結果となりました。今や日本人の約半数が罹患すると言われている花粉症ですが、引き続き猛スピードで日本全体に花粉症が広がっていることが伺えます。

目のかゆみやくしゃみだけじゃない！頭皮やまつ毛など、花粉トラブルはさまざま・・・専門家から解説

花粉によるトラブルとしては、目のかゆみ、くしゃみ、肌荒れなどが代表的ですが、実は意外にも頭皮やまつ毛も花粉による花粉トラブルが起こってしまう可能性があります。今回はそれぞれ専門家に話を伺いました。

■頭皮の花粉トラブルについて、クレンジュ東京 エイジングケアクリニック 院長 浜中聡子医師よりコメント



日々の診察の中で多くの受診者さまの頭皮を観察しますが、2～3月は花粉による頭皮炎症の疑いがある受診者さまが数十名程度いらっしゃり、例年より多くの方に症状が出ているように感じます。

花粉が皮膚に接触することによって生じる炎症のことを花粉皮膚炎と呼びますが、肌だけでなく、頭皮にも、かゆみなどが生じます。加齢とともに水分などのバランスが崩れ、乾燥しやすくなると、頭皮が刺激に敏感になり、花粉によるアレルギーの症状も出やすくなります。この症状をそのまま放置してしまうと、髪の毛の成長を

妨げてしまい、薄毛の原因につながりかねません。

花粉による皮膚のトラブル予防としてしっかりと髪を洗う、頭皮保湿液で乾燥を防ぐ、こまめに髪分け目を変える、髪に必要な栄養素を食生活から取り入れるなど、日常的な対策を取り入れてみてください。すでに炎症やかゆみが気になる方は、当院での診察・治療も可能です。ぜひお気軽にお問合せください。



花粉により頭皮が炎症した症例(クレンジュ東京エイジングケアクリニック提供)

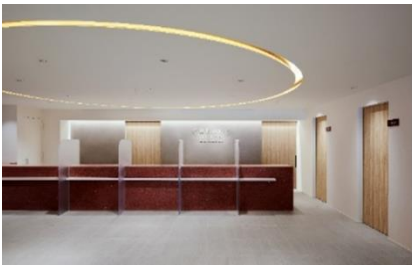
■クレンジュ東京 エイジングケアクリニック概要

クレンジュは発毛治療を中心とした女性の悩みに寄り添うクリニックです。

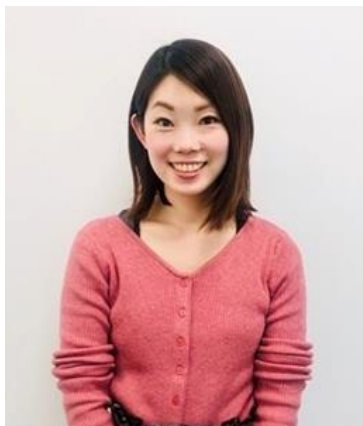
1999年より業界で先駆けて女性専門の発毛治療を開始し、開院から23年間で55万人※もの治療を行ってきました。クリニックには、頭髮(女性薄毛外来・産後抜け毛外来・美髪外来・後遺症抜け毛外来)・更年期・美容皮膚・アートメイクの診療科目を設置し、特に頭髮治療は、Dクリニック 東京ウイメンズ時代から16年以上の臨床実績で培った治療内容をご提供しています。女性のライフステージによって変化する、髪・肌・ホルモンバランスのエイジングに関する悩みを、患者様お一人おひとりのライフステージに寄り添った複合的な治療をご提供できることがクレンジュの特徴です。

※1999年7月～2022年12月 クレンジュグループ延べ患者数

クレンジュ東京 エイジングケアクリニック公式HP:<https://www.womenshealth-tokyo.com/>



■まつ毛の花粉トラブルについて、アンファー株式会社 スカルプDアイケアブランド部 マーケティング課 柳生千恵よりコメント



目に花粉が入り、痒いと感じた時に、まつ毛・まつ毛の生え際も一緒に擦ってしまう人が多いのではないのでしょうか。強く擦ることで負荷がかかり、まつ毛が抜けてしまう原因になります。花粉症によりまつ毛が細くなったという声も聞かれますが、それも花粉症により目を擦ることで、まつ毛の抜け毛量が増加することで細くなったと感じているのではないのでしょうか。

また、花粉症で寝られない、ご飯を食べるのもつらい…など栄養不足やストレスがある場合、毛に栄養が行きわたらず、まつ毛が抜ける・細くなるといったトラブルの原因になることも考えられます。

花粉症による摩擦で一時的にまつ毛が少ない場合は、まつ毛が生えやすい、また今あるまつ毛を抜けにくく強くする「環境づくり」をすることが大切です。バランスの良い食事や質の高い睡眠を取り入れたり、目元を温めたりと、まつ毛に栄養を届けることを心がけていただきたいです。

また、まつ毛も肌や髪の毛と同じく保湿・ケアは重要です。まつ毛美容液は、目元を保湿し、まつ毛にハリツヤを与えてくれます。目元の状態を良くすることで、まつ毛を生やしやすくする環境を作ることができますと言えます。特に、ダメージ補修効果があるまつ毛美容液を選ぶと、まつ毛のダメージをケアすることで、ハリやコンが生まれ、今あるまつ毛を、強く美しいまつ毛にする効果が期待できます。

アンファー株式会社について

アンファー株式会社は、1987年に会社設立。「予防医学」をタグラインに掲げ、“「いつまでも美しく、健やかに生きる」というエイジングケア・ライフスタイルの実現を支援すること。”という企業理念のもと、すべての人々に「美」と「健康」の提供を目指すトータルエイジングケア・カンパニーです。多くの医師や臨床機関・研究機関との密接なリレーションを構築しながら、「スカルプD」シリーズをはじめ、化粧品、食品等、様々なエイジングケア商品・サービスの企画・研究開発および販売を行っております。2019年4月10日より、“Dクリニックグループ”※に参画しました。

※Dクリニックグループは、「医学」を背景として、共通の目的と理念を実現するために、企業、クリニック、NPO法人団体等により発足したグループです。